

平成30年度ヒラメ新規加入量調査結果

県漁業調査指導船「開洋」にて、水工研Ⅱ型のソリネットによるヒラメ新規加入量調査を行いました。この調査はヒラメの0歳魚の現存量を調べることによって、翌年秋以降に漁獲加入するヒラメの資源水準を把握することを目的としており、太平洋北部では青森県から茨城県の各水産試験場と東北区水産研究所が共同で実施しています。宮城県では平成14年以降、8月から11月の各月1回、石巻湾北部の4定点で調査をしています(図1)。採取尾数が多かった調査点である佐須浜の全長組成は、8月29日には3~5cmと8~11cm, 9月12日には4~9cm, 10月9日には9cmと13~14cm, 11月19日には13cm以上の個体が主体でした(図2)。その他の調査点(浜市, 矢本, 長浜)では期間を通して全長15cm以上の大型の個体が中心に採取されました(表1)。今回の調査における平均採取尾数は、長浜では低水準で、佐須浜では平成22年, 27年, 29年よりは低いものの、平成26年以來の高水準を保っています(図3)。

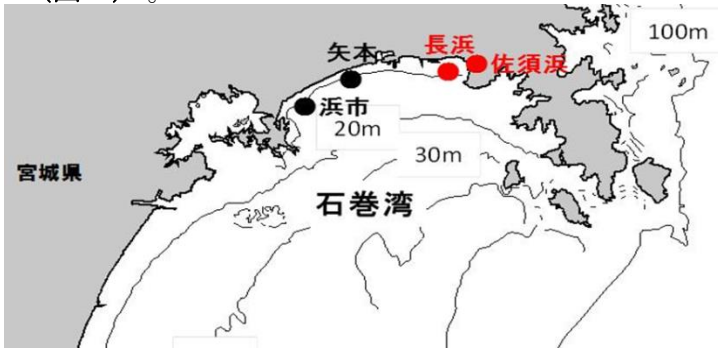


図1. 調査位置

表1. 佐須浜以外の調査点の結果

調査日	調査点	生物情報			水深(m)	底水温(°C)
		全長(cm)	体長(cm)	体重(g)		
8月29日	浜市	33.2	28.3	334.0	6.3~6.5	23.3
10月9日	長浜	53.0	45.5	1424.6	6.1~6.2	23.1
		17.0	14.0	45.3		
11月19日	浜市	19.2	16.0	63.7	7.1~7.2	17.7
	矢本	15.5	12.2	31.6	8.8~8.2	16.9
	長浜	16.5	13.5	39.1	5.0~5.5	16.6
		21.7	18.0	83.6		

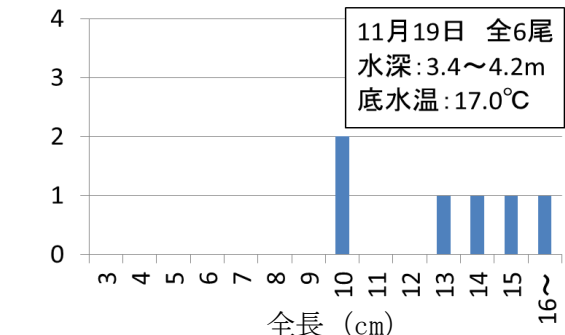
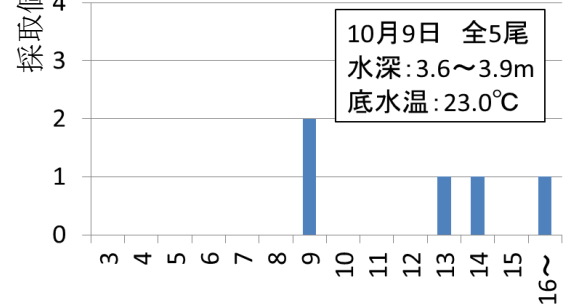
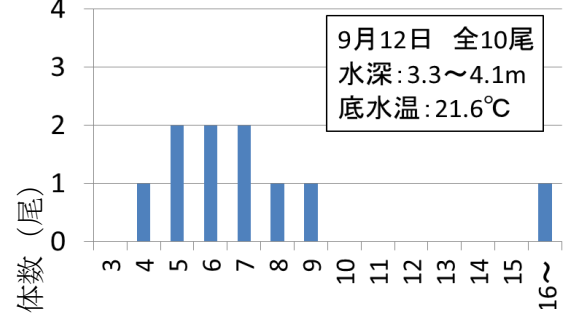
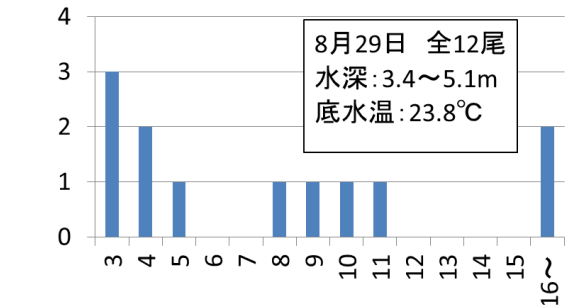


図2. 佐須浜で採取された稚魚の全長組成の推移

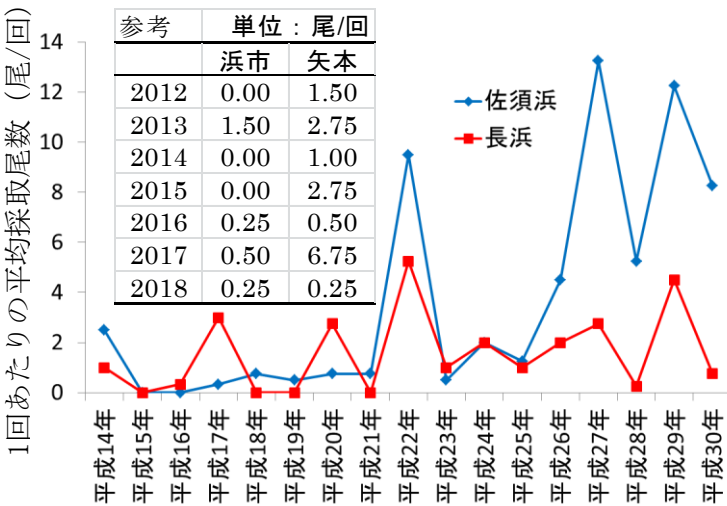


図3. 採取尾数の経年変化